

生理学研究所2018年研究会

生体サバイバル戦略としての痛みの機構と意義

2018年12月13日(木)～14日(金)

岡崎コンファレンスセンター・大隅ホール

代表者:加藤 総夫(東京慈恵会医科大学・医学部)

担当者:富永 真琴(生理学研究所)

本研究会では、未発表のデータも含めてご発表いただき、学会では行うことのできない討論を進めることによって、参加者の研究をより深め、全体として痛みの研究活動を活性化することを企図しています。

したがって、本研究会での撮影、録音を一切禁止することはもちろんのこと、研究会での発表によって知りえた情報を他のメディアなどに流す行為もお控えくださいますようお願いいたします。

(提案代表者 加藤総夫)

口演発表の方へ

- 発表時間は30分（発表20-25分とし、最低5分、できれば10分の討論時間を設けてください）です。発表時間は厳守していただくようお願いします。
- ご発表にはご自身のPCをご準備ください。液晶プロジェクター（HDMI、ミニD-Sub15pin）を接続するためのコネクタ等、忘れずにお持ちください（会場には準備がありません）。また、まれに液晶プロジェクターとの相性が悪い場合がありますので、必ずデータのバックアップをUSBでお持ちください。事前にPCの動作確認をいたしますので、Session間の休憩時に演台までPCをお持ちください。

ポスター発表の方へ

- ポスターサイズは、A0まで掲示できます。（ボードは縦長です）
- ポスターは、会期中を通して掲示してください。



12月13日 木曜日

13:00-13:05 Opening Remarks 加藤総夫&富永真琴

セッション1 座長：内田 邦敏

13:05-13:35 口演1 堀 紀代美 (金沢大学)
末梢性動脈疾患に伴う虚血性疼痛のメカニズムの解明

13:35-14:05 口演2 谷奥 匡 (和歌山県立医科大学)
新規痛み関連分子 Tmem45b の解析

セッション2 座長：歌 大介

14:05-14:35 口演3 那須 輝顕 (中部大学)
薬物筋注による鎮痛機構の解析

14:35-15:05 口演4 渡辺 俊 (北里大学)
種々のスフィンゴ糖脂質による痛み及び痒み行動への影響

15:05-15:35 Poster viewing 1 + Coffee break

セッション3 座長：中本 賀寿夫

15:35-16:05 口演5 本庄 賢 (筑波大学)
ショウジョウバエ侵害受容における神経ペプチド性の下降性抑制機構

16:05-16:35 口演6 相澤 風花 (神戸学院大学)
脳内 n-3 系脂肪酸—脂肪酸受容体シグナルを介したストレス誘導性慢性疼痛形成機序の解明

セッション4 座長：高橋 由香里

16:35-17:05 口演7 上 勝也 (和歌山県立医科大学)
Exercise-induced hypoalgesia の脳メカニズム —mesocortico-limbic system の役割

17:05-17:35 口演8 水谷 みゆき (愛知医科大学)
痛みではない経験が鎮痛を生じる—幻肢痛に対する催眠を通して—

17:35-18:05 Poster viewing 2 + Coffee break

特別講演 座長：加藤総夫

18:05-18:55 梅田 聡 (慶応義塾大学)
情動を支える自律神経機能と内受容感覚

19:00 情報交換会

12月14日 金曜日

セッション5 座長：鈴木 喜郎

09:00-09:30 口演9 熊本 栄一 (佐賀大学)

オレキシンAによる成熟ラット脊髄膠様質ニューロンのシナプス伝達の修飾
- オレキシンBやオキシトシンの作用との比較

09:30-10:00 口演10 坂井 敦 (日本医科大学)

神経障害性疼痛における長鎖非コードRNA Neat1の作動機構の探索

10:00-10:30 **Poster viewing 3** + Coffee break

セッション6 座長：高山 靖規

10:30-11:00 口演11 丸山 健太 (大阪大学)

痛覚を介した炎症と骨格の制御機構

11:00-11:30 口演12 中川 貴之 (京都大学)

がん化学療法誘発性末梢神経障害におけるシュワン細胞の役割と治療標的としての可能性

11:30-12:00 口演13 川畑 篤史 (近畿大学)

化学療法誘発性末梢神経障害の原因物質としてのHMGB1の役割：
臨床データ解析と基礎研究を駆使したアプローチ

12:00-12:05 Closing Remarks 富永真琴&加藤総夫

ポスターセッション

P1

FK506 (タクロリムス) は TRPA1 チャネル活性化によって痛みを引き起こす
内田 邦敏 (福岡歯科大学)

P2

蚊の唾液成分が動物の反射行動に与える影響の検討
駒走 仁哉 (関西大学)

P3

幼少期ストレス負荷マウスの脳内各種オピオイド受容体およびオピオイドペプチドの発現変化
中本 賀寿夫 (神戸学院大学)

P4

電気生理学的解析法を用いた蚊の唾液成分による機械的痛み刺激に対する効果の検討
北田 博之 (関西大学)

P5

帯状疱疹関連痛に対する methylcobalamin の効果と作用機序の解明
菊川 孝 (富山大学)

P6

Oxaliplatin 誘発末梢神経障害性機械的 allodynia に対する aucubin の効果
前坂 未紀 (富山大学)

P7

脳卒中後疼痛モデルマウスにおける orexin-A 投与の影響
松浦 渉 (神戸学院大学)

P8

AIM-MRI を用いた慢性疼痛時のマウスの脳活動の可視化
稲波 千尋 (名古屋市立大学)

P9

ミラーイメージペイン発症における大脳皮質一次体性感覚野の役割
石川 達也 (金沢大学)

P10

新生ラット摘出脳幹-脊髄-前肢付き標本を用いた痛み-呼吸促進反応の解析
荒田 晶子 (兵庫医科大学)

P11

線維筋痛症モデルラット脊髄後角細胞における侵害情報伝達の電気生理学的解析
歌 大介 (富山大学)

P12

マクロファージにおいてパクリタキセルにより誘発される内因性 H₂S に依存した HMGB1 遊離 :
化学療法誘発性末梢神経障害への関与
堂本 莉紗 (近畿大学)